

	発行者の略号	東書	教出
	書名	新編 新しい社会 公民	中学社会 公民 ともに生きる
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①課題を自分たちで見つけ、考え、伝えるというプロセスを大切に、持続可能な社会の実現に向けて「これからの社会を生き抜く力」の育成をめざしている。	①市民的教養の基礎・基本を身につけ、社会を読み解き、主権者として生きる力を育み持続可能な社会を創造する市民の育成をめざしている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①見開き1ページに興味・関心を引き出す「導入資料」、学習を貫く問いの「学習課題」、丁寧でわかりやすい「本文」、学習課題を解決する「チェック＆トライ」の流れで学習内容が定着できるよう工夫されている。 ②毎時間の学習内容をまとめる「チェック＆トライ」では、思考力・判断力・表現力等を身につけられるよう工夫されている。また、各章末には、さまざまな思考ツールを活用して学習内容をもとに考察する活動が設定されている。 ③中学生が社会参画している事例を挙げ、持続可能な社会の形成に必要な一人ひとりの社会参画について、具体的に考えることができる。また、「インタビューコラム」から、自らの生き方、キャリア形成について考えるよう工夫されている。	①本時の学習ページの最後に学習内容を整理しながらまとめる活動として「確認」のコーナーが設けられており、学習事項の定着が図られるような工夫がされている。 ②本時の学習ページの最後に「確認」を基にそれを表現する活動として「表現」のコーナーが設けられており、学習事項の定着と活用が図られるような工夫がされている。また、「THINK」や「Q」のコーナーが設けられ、資料から考察する活動が設定されている。 ③これまでの学習をいかし、小中学校を通じた社会科のまとめとして、最後に「私の提案」を作成する活動を取り入れている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ねよい。	概ねよい。
	（ク）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①「チェック＆トライ」や「みんなでチャレンジ」コーナーを設け、小集団での参加型学習を行い、対話的な活動を実践できるように工夫されている。 ②他教科でも扱う学習内容は、教科等の関連を示すマークがついている。また、他分野との関わりについても同様である。 ③ディベートやロールプレイングの事例や「探究のステップ」、章の振り返りを通じて、探究課題を思考ツールで活用したり、話し合いの活動を行ったりして解決するように工夫されている。 ④伝統文化の継承や新たな文化の創造、多様な文化について扱っている。また、現代社会で行われている事例を取り上げ、伝統・文化への理解を深められるよう工夫されている。 ⑤「探究のステップ」、章の振り返りを通じて、探究課題を思考ツールで活用したり、話し合いの活動を行ったりして協働的な学びを行うようにしている。 ⑥各単元のはじめに「小学校の社会で習ったことば」が取り上げられている。また、「18歳へのステップ」など「公共」につながる巻末のページが設けられている。 ⑦「スキル・アップ」を活用し、公民に必要な技能を定着させる工夫がされている。 ⑧学習効果が高い資料を大きく掲載し、資料の図番号を本文にも付けている。また、漫画やイラストなども活用し、興味・関心を持って学習を進められる工夫がされている。	①授業のはじめに見通しを示す「学習課題」が明示され、問題解決型の学習の流れを重視し、最後に「確認」「表現」のコーナーで学習内容の定着を図るよう構成されている。 ②見開き左ページ下に小学校、他分野、他教科との関連を示す「関連マーク」がある。 ③特設ページには、ディベートや情報の入手と活用、シミュレーション、プレゼンテーション、レポートの作成を中心にグループ活動が設定されている。 ④受け継がれる伝統・文化、文化と宗教の違いなどの問題について取り上げ、新たな文化の創造について探究するよう、配慮されている。 ⑤ディベートや情報の入手と活用、シミュレーション、プレゼンテーション、レポートの作成を中心にグループ活動が設定されている。教え合いや協働学習などを通して、他者との交流を経て学習が深まっていくよう設定されている。 ⑥小学校で登場したキャラクターが中学生として登場し、学び合う意識を持たせている。また、見開き左ページ下には小学校との関連事項を「関連マーク」として振り返りができるよう工夫されている。 ⑦「公民の技」では、社会科の資料活用を学び、情報活用能力の育成を図ることができる。 ⑧生徒の日常生活や経験と関連深い話題・内容が多く取り上げられている。巻頭・巻末には生徒が興味・関心を持てるような写真資料が掲載されている。
（キ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①見開き2ページでまとめられている。6章で構成されている。 ②資料の掲載部分と本文掲載部分を分けるため、背景で区別している。色覚特性にも対応できるような色の組み合わせをしている。 ③すべての文字が読みやすいよう、UDフォントを使用している。	①本文資料などが見開き2ページにまとめられている。7章で構成されている。 ②地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語などはふりがなをつけるとともに、読みやすいフォントを用いている。 ③視力や色覚に関しての特性に対応し、すべての生徒が見やすいよう配慮されている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①学習の流れがイメージできるよう、興味・関心を引き出す「導入資料」、学習を貫く問いの「学習課題」、丁寧でわかりやすい「本文」、学習課題を解決する「チェック＆トライ」で構造化されている。	①各章の「学習のはじめに」の章ごとの「学習の『見方・考え方』」を示すコーナーを設けている。また、章末に「学習のまとめと表現」の中にも「見方・考え方」のマークがあり、問いの考察の視点や考え方となっている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②ディベートやロールプレイングの事例や「探究のステップ」、章の振り返りを通じて、思考ツールを活用したり、話し合いの活動を行ったりして、課題に対して多面的・多角的に考察しやすいように工夫されている。	②身近なことをテーマに議論したり論述したりすることで表現力を身につけるとともに、話し合いの場を設定し、交流を通じて自らの思考や判断を深めるよう工夫されている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③章末のまとめには、「深めよう」が設定されており、現代社会の課題について探究するコーナーがある。また、特設ページの「もっと知りたい」で関連させた学習を展開できるよう工夫されている。	③特設ページで、学習をふまえた課題を「TRY」で設定している。

	発行者の略号	帝国	日文
	書名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して	中学社会 公民的分野
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①主体的に社会に参画できる力を育むことをめざしている。	①「新しい時代を担う主権者を育てる」ことを基本方針として、「公民としての資質・能力」を育成することをめざしている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①「学習の前に」の大きなイラストによる導入、毎時間ごとの「学習課題」を使つての展開、「確認しよう」「説明しよう」での振り返りの流れで、主体的に知識・技能が習得できるよう工夫されている。 ②習得した知識や言語活動をいかして、「社会的な見方・考え方」を働かせる「アクティブ公民」や「章の振り返り」が設定されている。 ③実生活に結び付いた資料や持続可能な開発目標（SDGs）とのかかわりを通じて、社会参画の育成をめざすことができる。	①何を学ぶのかを「学習課題」で明確にし、「確認コーナー」「表現コーナー」で基礎的基本的な知識・技能の定着ができるようにしている。 ②各見開きページに見方・考え方の視点があり、「アクティビティ」や「チャレンジ公民」を通じて、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしている。 ③各章では「学習のはじめに」では、単元を貫く問いを立て、学習の見通しを持った活動ができるよう工夫している。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ねよい。	概ねよい。
	（ク）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①学習した知識をもとに「章の問い」を振り返ることで、「深い学び」につなげられるよう配慮されている。 ②各見開きページの左下に「小学校・地理・歴史・他教科との関連」のコーナーが設けられ、各分野の関連を図れるようになっている。 ③「アクティブ公民」でのディベートや「章の振り返り」の意見交換などの課題を通じて、言語能力の育成を図ることができる。 ④コラム「未来に向けて」では、狂言師・野村萬斎さんのインタビューなどから文化の継承と創造の大切さについて考えることができる。 ⑤「アクティブ公民」で、現代社会の課題について考察し、解決への取組を考えるパフォーマンス課題が設定されている。 ⑥各部の最初に「小学校で学習した事項」が設けられている。また、主権者としても社会参画の意義を理解できる「18歳への準備」や「高等学校への準備」が設定されている。 ⑦「資料活用」では資料を読み取る視点やその活動が多く、情報活用能力の育成につながる。 ⑧各章の導入ページの「学習の前に」で学習の見通しを持たせ、毎時の内容が振り返られるようになっている。また、「章の振り返り」を通して、章全体の学習に取り組めるようになっている。	①「アクティビティ」でくり返し「見方・考え方」について考え、社会の課題を考察し、「学び合い」から深い学びをめざす「チャレンジ公民」が設定されている。 ②巻頭に「地理・歴史とのつながり」が設定されている。また、巻末には「他教科とのつながり」についてのページが設けられている。 ③「アクティビティ」、「チャレンジ公民」では、考察したことを議論したり、説明したりするなど言語活動にかかわる学習ができるようにしている。 ④現代社会の文化伝統については、日本の伝統・文化の特徴を資料（写真やイラスト）などで学習できるよう工夫されている。 ⑤「アクティビティ」など、見方・考え方をくり返し働かせられるように工夫している。話し合いなどの対話的な活動には「学び合いマーク」がついている。 ⑥導入ページ「学習のはじめに」では、小学校での学習内容を確認できるようになっている。 ⑦「アクティビティ」での情報の整理・比較などを行う際に巻末に「思考ツール」があり、活用できるようにしている。 ⑧各章のはじめには漫画による導入があり、実生活と結びつくものとなっている。大まかに学習内容をとらえることができるよう工夫されている。
（イ）分量・装丁・表記等 ① 各内容の分量とその配分は適切であるか。 ② 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①本文、資料が見開き2ページにまとめられている。5部6章から構成されている。 ②本文はわかりやすいように表現されている。また、自主学習ができるよう、二次元コードが利用でき、タブレットでの閲覧ができる。 ③はっきり読み取ることができるUDフォントで書かれ、わかりやすい色に配慮されている。	①本文、資料は見開き2ページにまとめられている。全4編の構成となっている。 ②本文はわかりやすい文章となっている。 ③図版は色だけでなく、形や模様、線の種類などでわかるよう配慮している。	
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①見開きページに興味・関心を引く「導入」、学習を見通せる「学習課題」の設定、わかりやすい「本文」、学習内容を振り返る「確認しよう」「説明しよう」の展開となり、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう構造化されている。	①本文ページに「見方・考え方コーナー」が設けられ、学習の課題に必要な見方・考え方を示している。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「アクティブ公民」では、現実社会で起こりうる事例を挙げ、自分なりの考えを構築するため、様々な観点からの資料を提示している。また、解決策を考えるために話し合い活動の場を設けており、多面的・多角的に考察しやすくなっている。	②「アクティビティ」では、グループでの話し合い活動の場を設けており、多面的多角的に考察しやすくなっている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③各章末に「学習を振り返ろう」や「アクティブ公民」が設定され、単元を貫く問いについての課題が提示されている。また、思考ツールを活用して自分の考えを整理・構造化できるよう工夫されている。	③第4編第2章「私たちの課題」では、三分野の学びを生かしたレポート作成があり、持続可能な社会の観点から課題を探究できるよう工夫されている。

	発行者の略号	自由社	育鵬社
	書名	新しい公民教科書	新しいみんなの公民
（ア） 教科・種目に共通な観点	①編集の趣旨と工夫	①生徒が基礎的・基本的な内容を理解できるよう、積み重ねて学習し、そこから再構築して主体的に学ぶことができることをめざしている。	①課題について「他人事」ではなく「自分事」として現代社会をとらえ、主体的に社会の形成に参画することをめざしている。
	（フ）教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連 教育基本法（第1条、第2条）及び学校教育法（第49条・第30条2項）に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮 ②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮 ③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	①生徒の身近な事例を取り上げ、工夫されている。 ②発展的に学習を行うため、章末の「学習のまとめと発展」を設け、より深い理解ができるようにしている。 ③章末の「学習のまとめと発展」や終章のレポート、ディベートなどから、公民として主体的に社会へ参画しようとする態度を身につけるよう工夫されている。	①生徒の身近な事例を取り上げ、興味・関心が高まるよう工夫されている。 ②現代社会の課題や世の中の変化を具体的に挙げ、それについて多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。 ③これまでの学習をいかし、小中学校を通じた社会科のまとめとして、最後に「よりよい社会をめざして」を作成する活動を取り入れている。
	（イ）市町の方針との関連 ①小田原市 ②箱根町 ③真鶴町 ④湯河原町	概ねよい。	概ねよい。
	（ク）内容と構成 ○ 中学校学習指導要領（平成29年告示）の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮 ②他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮 ○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。 ③言語能力の確実な育成 ④伝統や文化に関する教育の充実 ⑤体験活動の充実 ⑥学校段階間の円滑な接続 ⑦情報活用能力の育成 ⑧生徒の学習上の困難さに応じた工夫 ○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	①章末の「学習のまとめと発展」で、生徒が主体的に考察し、表現することによって、深い学びに向かうよう工夫されている。 ②他教科との関連が図られている。 ③章末の「学習のまとめと発展」や、小単元での「やってみよう」、ディベートなど生徒が表現する場を設定している。 ④「もっと知りたい」で伝統文化について取り上げている。巻末で伝統的工芸品を紹介している。 ⑤「アクティブに深めよう」や「課題の探究」でディベート、終章でレポートなど体験活動を取り入れている。 ⑥「もっと知りたい」で選挙制度と政治参加について取り上げており、中学校・高等学校間の接続の配慮がされている。 ⑦「やってみよう」の内容が生徒の生活に関係しているものがあり、情報活用がされる工夫がされている。 ⑧写真やグラフ等の資料が見やすく、学習効果を高める工夫がされている。	①「確認」「探究」「見方・考え方」「資料活用 TRY!」「学習を深めよう」「やってみよう」など、言語活動が多く設けられている。 ②現代社会の課題を、歴史的経緯を踏まえて考察できるような資料を取り上げている。 ③「スキルアップ」を設定し、発表や議論のしかた、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング、ポスターツアーなど、活動を通じて身につけられるようにしている。 ④日本の伝統・文化が理解できるよう、写真資料や図表、コラムなどで紹介している。 ⑤1～5章の章末には、その章で学習した内容を踏まえて、社会的事象の意味や意義、特色や関連を考察したり、課題を把握し、その解決に向けて考えたりするなどの「これから」が設けられている。 ⑥各章のはじめに小学校で学習した内容について紹介している。また、公民と歴史の連動を図るため、現代社会を歴史的経緯を踏まえて考察できる資料を使用している。 ⑦「資料活用」のコーナーを設け、学習に必要な情報を集めたり、読み取ったり、まとめたりする資料活用能力の育成、定着できるように工夫している。 ⑧概念的な内容を学習する単位では、イラストなどを用いて表現し、理解しやすいよう工夫している。
（イ）分量・装丁・表記等 ①各内容の分量とその配分は適切であるか。 ②体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。 ③文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	①見開き2ページにまとめられている。序章から終章までの全7章から構成されている。 ②図版の資料が見やすく工夫されている。 ③重要語句の字体がゴシック体となっている。本文に番号がふられ、解説と関連させている。	①本文、資料は見開き2ページでまとめられている。全5章から構成されている。 ②図版資料には通し番号がついている。 ③色覚特性に配慮した色彩を使用している。また、色だけでなく、地紋なども入れ、色以外の情報から読み取れるようにしている。	
（イ） 教科・種目別の観点	①生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方（地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方）」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	①「アクティブに深めよう」は、生徒の実生活と関連した内容になっており、資料から見方・考え方を学習できるよう工夫されている。	①「学習を深めよう」では、現代社会で起きている問題に対して、社会的な見方・考え方を働かせて、自分の考えをもったり、話し合ったりする学習活動が設定されている。
	②社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	②「もっと知りたい」で深く学び、「ここがポイント」や「アクティブに深めよう」の課題に取り組むことで多面的・多角的に考察できるように工夫されている。	②社会的事象について、多面的・多角的に考察できるよう、「両論併記」や学習内容と生徒の実生活やつながりを感じられるような資料を充実させている。
	③課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	③学習内容で問いが設定され、「やってみよう」や「学習のまとめと発展」から活動が充実するように工夫されている。	③興味・関心を高める導入資料、理解しやすい本文やコラム、図版資料、「確認」と「探究」を通じて、問題解決型の構成となっている。